

## 第3回 JOIC ワークショップ 「オープンイノベーションにおける CVC の活用可能性」

オープンイノベーション協議会事務局  
(運営支援：有限責任監査法人トーマツ)

### 1. 日 時 (全2日間) :

第1日：3月30日 14:00～17:00 (13:30受付開始)

第2日：4月12日 14:00～17:00 (13:30受付開始)

### 2. 場 所：NEDO本部 (川崎) 21階会議室

### 3. 目 的

Google やGE、Intel などイノベーションを創出し続けている企業の多くは、オープンイノベーションの手法の一つとしてCVC(コーポレートベンチャーキャピタル)を活用しています。日本企業においても2010年頃からのベンチャーブームの後押しもあり、オープンイノベーションの推進を目的としてCVCを設立する事例が増えています。しかしながら日本では、オープンイノベーションにおけるCVCの有効性やその活用方法が十分に理解されているとは言いがたく、欧米に比べると未だその利活用が進んでいないのが現状です。

そこで本ワークショップでは、オープンイノベーションにおけるCVCの有効性を理解したうえで、実際に推進するにあたって社内で行き当たる課題を参加者間で話し合い、さらにそれら課題を乗り越えるためのポイントを議論します。CVCを運営しオープンイノベーションを推進している大企業の担当者をゲストに招き、普段は接することの少ない他社・他業界の参加者間で論点を共有することで、会員の皆様の円滑なオープンイノベーション推進の一助とすることを目的に企画しました。

### 4. 内 容：

#### (1) 第1日：オープンイノベーションにおけるCVCの活用可能性

【ゲスト講師】株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ 取締役副社長 秋元 信行 氏

【ファシリテータ】有限責任監査法人トーマツ 兼トーマツベンチャーサポート株式会社 本田 知行

#### 【プログラム】

- ・グループワーク (なぜ参加したか、各自が抱える問題意識の共有)
- ・ゲスト講師による講演  
(自社の取り組み、どう始めたか、OIの手法としてCVCを選んだ理由、R&Dなどとの役割分担、他)
- ・ゲスト講師とファシリテータによる対談

※ 1 日目の学びを元に事前ワークを実施

(CVC の目的・期待、他の選択肢に対する CVC の優位性、他の組織との役割分担)

(2) 第 2 日：オープンイノベーションにおける CVC の活用可能性

【ゲスト講師】 インテルキャピタル マネージングディレクター 出川 章理 氏

【ファシリテータ】 有限責任監査法人トーマツ 兼トーマツベンチャーサポート株式会社 本田 知行

【プログラム】

- ・ファシリテータによる前回の振り返り
- ・ゲスト講師による講演
- ・ゲスト講師とファシリテータによる対談
- ・グループワーク（前回の学び+事前ワーク+今回の学びを元に実施）  
(CVC の目的・期待、他の選択肢に対する CVC の優位性、他の組織との役割分担)
- ・全体討議